

決算説明

2020年3月期



2020年5月15日

 **株式会社田中化学研究所**

目次

1. 2020年3月期 決算ハイライト
2. 2020年3月期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前期比較
4. 製品別販売Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（\$/LBベース）
6. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
7. 資金調達（シンジケートローン契約締結）
8. Northvolt（ノースボルト）社に対する
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結
9. 営業利益 前期との差異要因
10. 営業外収支および特別損益
11. 比較貸借対照表
12. キャッシュ・フロー計算書
13. 今後のリチウムイオン二次電池市場
14. 技術開発の方向性
15. 中期ビジョン
16. 製品別販売数量予想
17. 2021年3月期 業績予想

付属資料

18. 業績を見る注意点
- ## 注意事項

1. 2020年3月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2019/3期	2020/3期	増減	増減率
売上高	32,632	20,073	△12,558	△38.5%
営業利益	△ 494	△ 1,365	△871	—
経常利益	△ 521	△ 1,503	△982	—
当期純利益	△ 524	△ 1,628	△1,103	—
EPS (円)	△ 19.17	△ 50.06	△30.89	—
設備投資額	5,248	8,073	+2,825	+53.8%
減価償却費	624	873	+248	+39.9%
期末従業員数(人)	231	282	+51	+22.1%

2. 2020年3月期 決算トピックス

●販売数量は前年同期比 △16.2%

- ・ リチウムイオン電池向け△ 25.3% (民生用途△ 32.3 %、車載用途△ 18.8%)
民生用途:最終製品の需要減少
車載用途:主要顧客の仕様変更の対応遅れや、中国市場の急減速による調整局面で需要減少
- ・ ニッケル水素電池向け + 17.6% (民生用途△ 21.3%、車載用途 + 22.4%)
車載用途:HV車の好調を背景に継続し増加

●主原料相場

- ・ ニッケル・コバルト相場共に前年第2四半期より下落し、当期末にかけて大きな変動なく推移

●コスト上昇

- ・ 中期的な増産に向けた
設備投資による減価償却費増加
組織人員体制強化による労務費の増加

●設備投資

- ・ 設備投資金額計 8,073百万円
第二期投資分 5,000百万円 (2018年 8月～着工 ⇒ 2019年7月完成)
第三期投資分 8,000百万円 予定 (2018年11月～着工 ⇒ 2020年6月完成予定)

●資金調達

- ・ 2020年1月28日 三菱UFJ銀行をアレンジャーとし、12,000百万円のシンジケートローン契約を締結

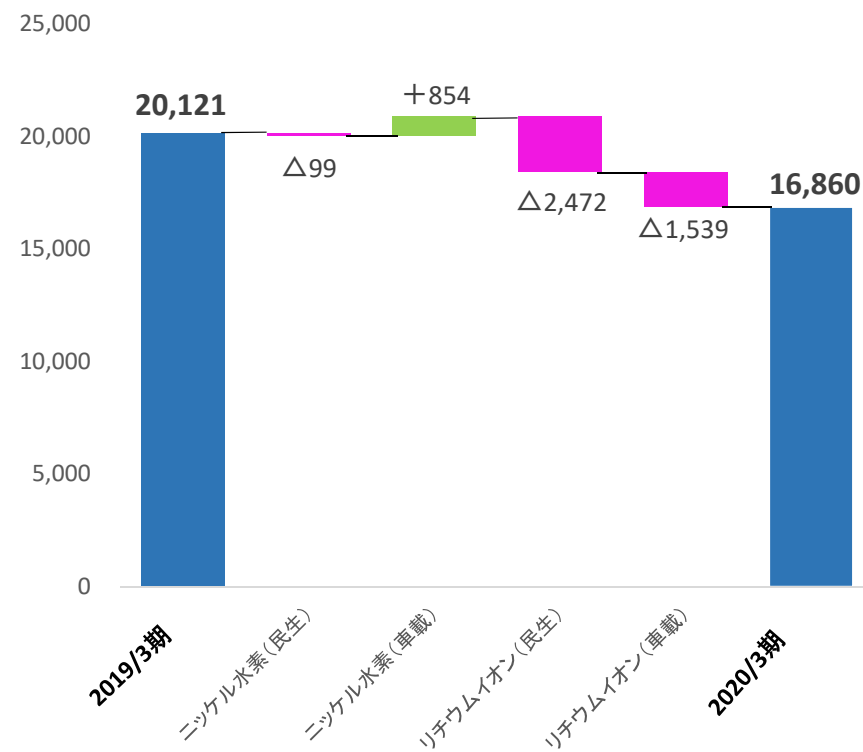
●Northvolt (ノースボルト) 社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結

- ・ 2019年10月15日 スウェーデン・ストックホルムに本拠を置くNorthvolt 社との間で、前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約及び前駆体販売契約を締結
- ・ 技術支援については、着実に実施中

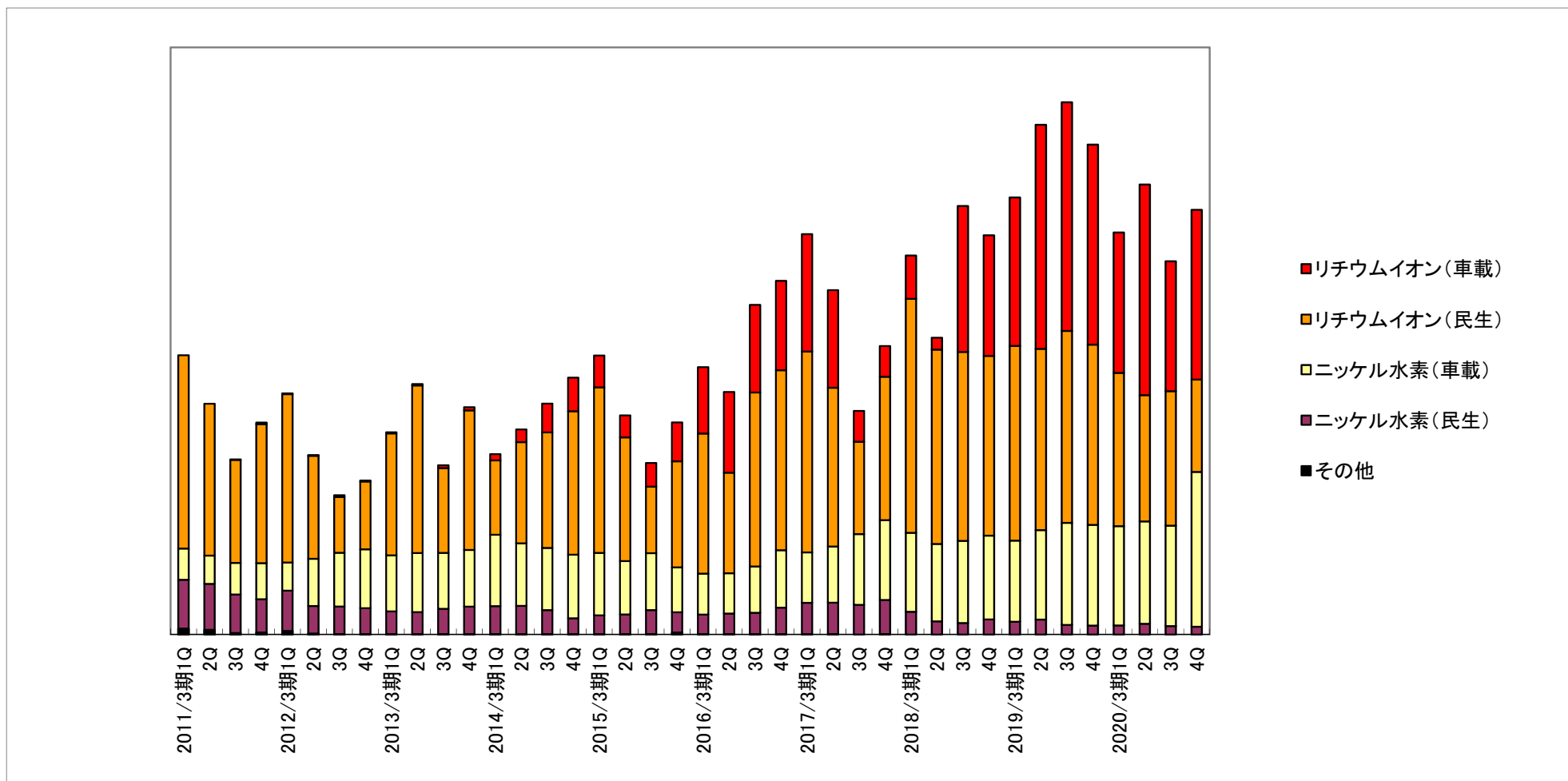
3. 製品別販売数量 前期比較

(単位:t)

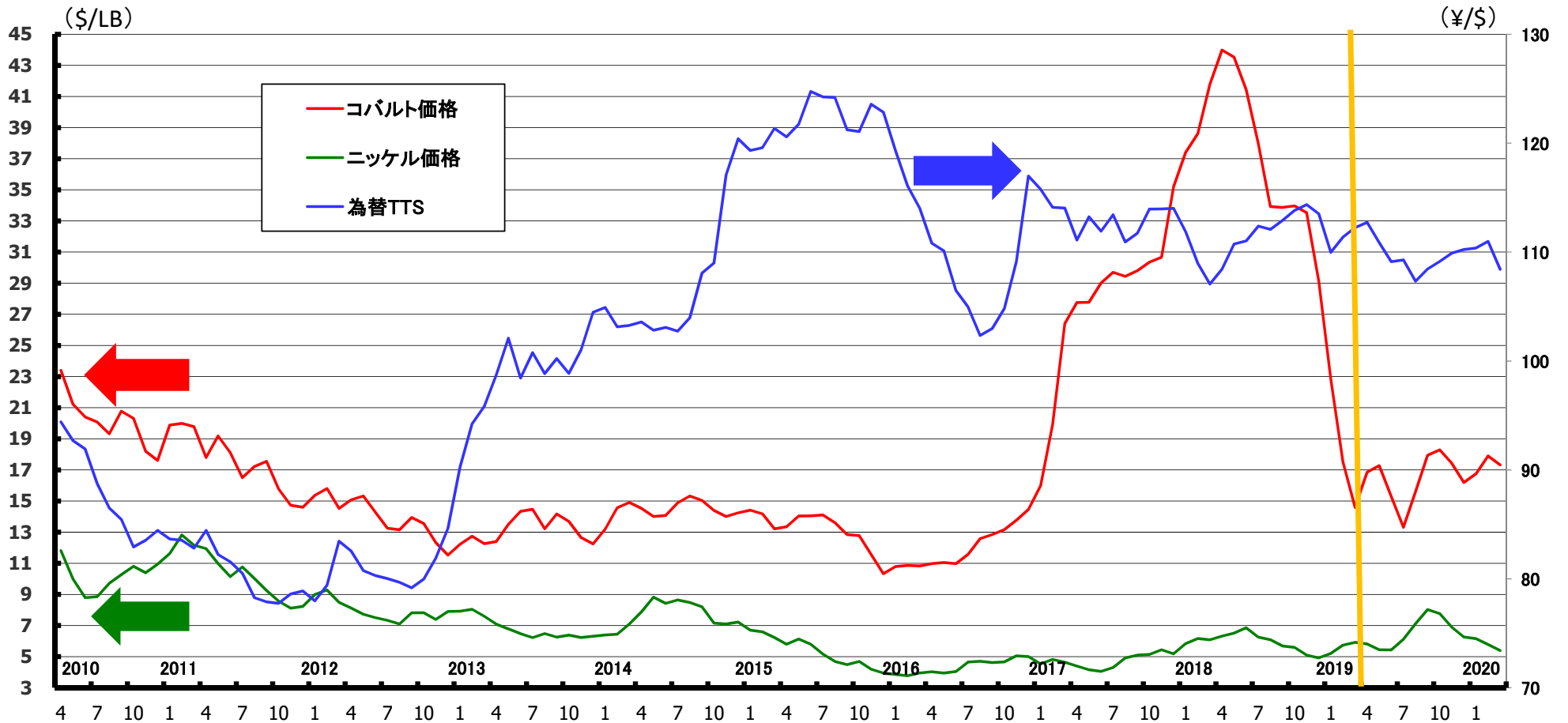
		2019/3期	2020/3期	増減	増減率
リチウムイオン	民生	7,645	5,173	△2,472	△32.3%
	車載	8,188	6,648	△1,539	△18.8%
	計	15,833	11,822	△4,011	△25.3%
ニッケル水素	民生	467	368	△99	△21.3%
	車載	3,815	4,669	+854	+22.4%
	計	4,283	5,038	+755	+17.6%
その他		4	0	△4	—
合計		20,121	16,860	△3,261	△16.2%



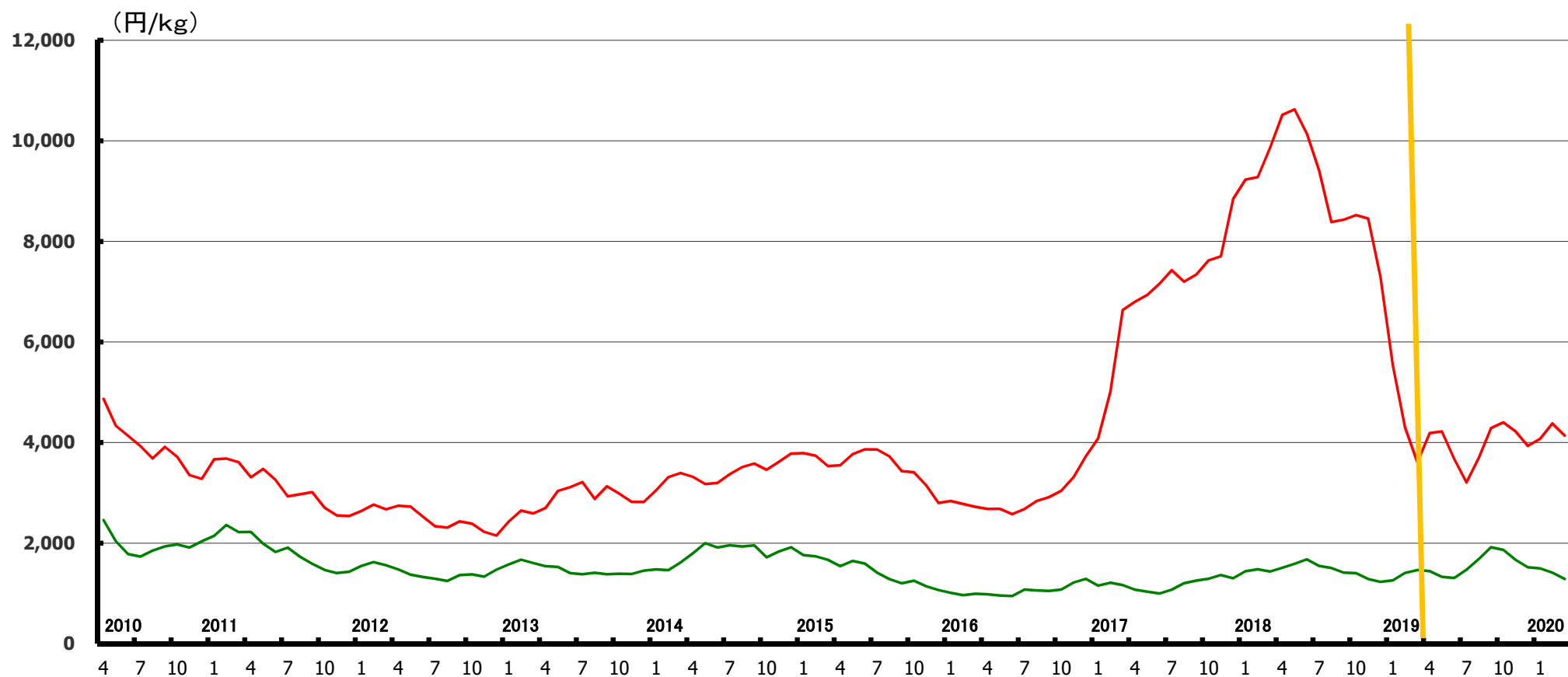
4. 製品別販売Q毎推移



5. 主原料国際価格推移 (\$/LBベース)



6. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)



7. 資金調達（シンジケートローン契約締結）

●資金調達の目的

車載用途の更なる需要増に設備投資を行っており、これらの事業展開にかかる資金需要に充当

●資金調達の方法（シンジケートローン契約の概要）

- ・ 組成金額 12,000百万円
- ・ 契約締結日 2020年1月28日
- ・ 契約形態 実行可能期間付タームローン
- ・ 借入実行可能期間 2020年1月31日から2021年3月31日
- ・ 借入満期日 2028年3月31日
- ・ 返済方法 2021年6月末日を初回とし、3ヶ月毎に40分の1を返済し、残額を満期日に返済
- ・ アレンジャー兼エージェント 株式会社 三菱UFJ銀行
- ・ ジョイント・アレンジャー 株式会社 三井住友銀行
- ・ コ・アレンジャー 株式会社 福井銀行
- ・ 参加金融機関 株式会社 三菱UFJ銀行
株式会社 三井住友銀行
株式会社 福井銀行
株式会社 北陸銀行
株式会社 福邦銀行
株式会社 北國銀行
株式会社 滋賀銀行

8. Northvolt（ノースボルト）社に対する

前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結



●契約概要（締結日：2019年10月15日）

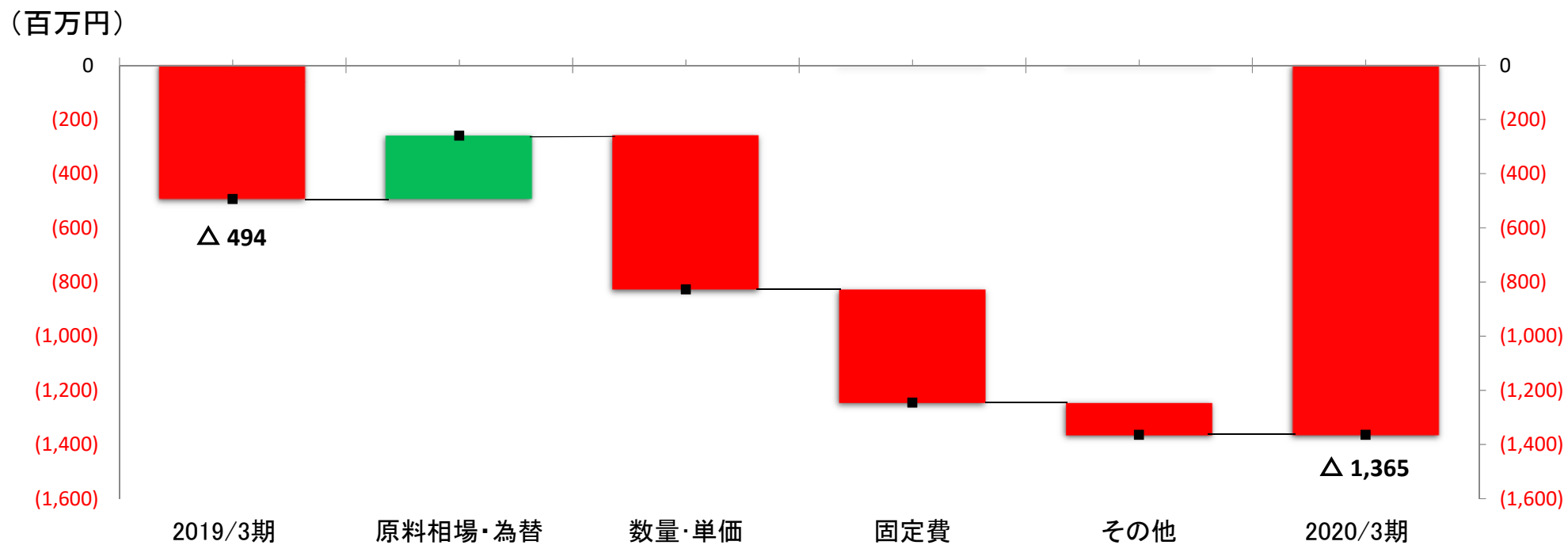
- ・ 前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・ 技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定

●Northvolt 社の概要

Northvolt 社は、車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

- ・ 名称 : Northvolt Ett AB (Stockholm, Sweden)
- ・ 事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・ 大株主 : Northvolt AB
- ・ WEBサイトアドレス : <https://northvolt.com/>

9. 営業利益 前期との差異要因



10. 営業外収支および特別損益

(単位:百万円)

	2019/3期	2020/3期	増減
営業外収支	△ 27	△ 138	△110
金融収支	△ 16	△ 15	+1
為替差損益	24	△ 19	△44
その他	△ 34	△ 102	△68
経常利益	△ 521	△ 1,503	△982
特別損益	△ 10	+3	+14
税引前当期純利益	△ 531	△ 1,499	△967
法人税等	△ 6	+128	+135
当期純利益	△ 524	△ 1,628	△1,103

1.1. 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2019/3期	2020/3期	増減
流動資産	16,065	9,147	△6,918
現預金	2,035	1,014	△1,021
売上債権	2,878	2,854	△24
棚卸資産	3,976	3,916	△59
グループ預け金	6,500	700	△5,800
その他	674	661	△12
固定資産	9,956	17,112	+7,156
有形固定資産	9,717	16,995	+7,277
機械装置他	5,160	8,605	+3,445
土地	1,263	1,433	+169
建設仮勘定	3,293	6,956	+3,662
無形固定資産	6	6	△0
投資等	232	111	△120
資産合計	26,021	26,259	+238

	2019/3期	2020/3期	増減
流動負債	9,225	8,365	△859
仕入債務	4,564	2,055	△2,509
借入金	300	300	—
その他	4,361	6,010	+1,649
固定負債	2,133	4,864	+2,730
借入金	2,100	4,800	+2,700
その他	33	64	+30
負債合計	11,359	13,230	+1,871
資本金	9,155	9,155	—
資本剰余金	6,662	6,662	—
利益剰余金	△ 1,169	△ 2,797	△1,628
自己株式	△ 2	△ 2	—
その他	15	11	△4
純資産計	14,662	13,029	△1,632
負債純資産合計	26,021	26,259	+238

自己資本比率	56.3%	49.6%	△6.7%
--------	-------	-------	-------

12. キャッシュ・フロー計算書

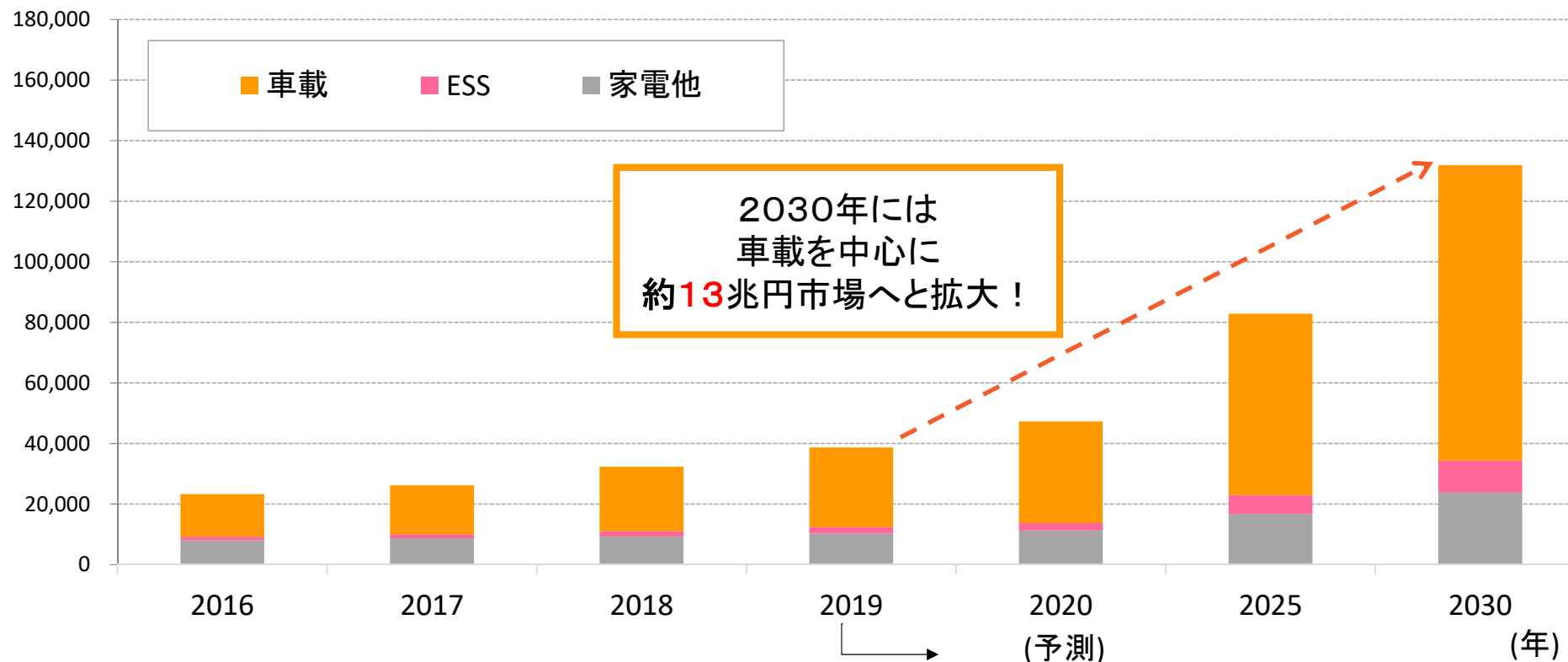
(単位:百万円)

	2019/3期	2020/3期	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益	△ 531	△ 1,499	△ 967
減価償却費	624	873	+248
運転資本による資金の増減	2,334	△ 2,425	△ 4,759
その他	98	1,009	+911
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,524	△ 2,042	△ 4,567
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 3,210	△ 7,630	△ 4,419
その他	0	275	+276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,212	△ 7,356	△ 4,143
フリー・キャッシュ・フロー	△ 687	△ 9,398	△ 8,710
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	—	3,000	+3,000
長期借入金の返済による支出	△ 300	△ 300	—
株式の発行による収入	6,715	—	△ 6,715
その他	△ 138	△ 142	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,276	2,557	△ 3,719
現預金等換算差額	1	19	+18
現預金等増減額	5,590	△ 6,821	—
期末現預金残高	8,535	1,714	△ 6,821

13. 今後のリチウムイオン二次電池市場

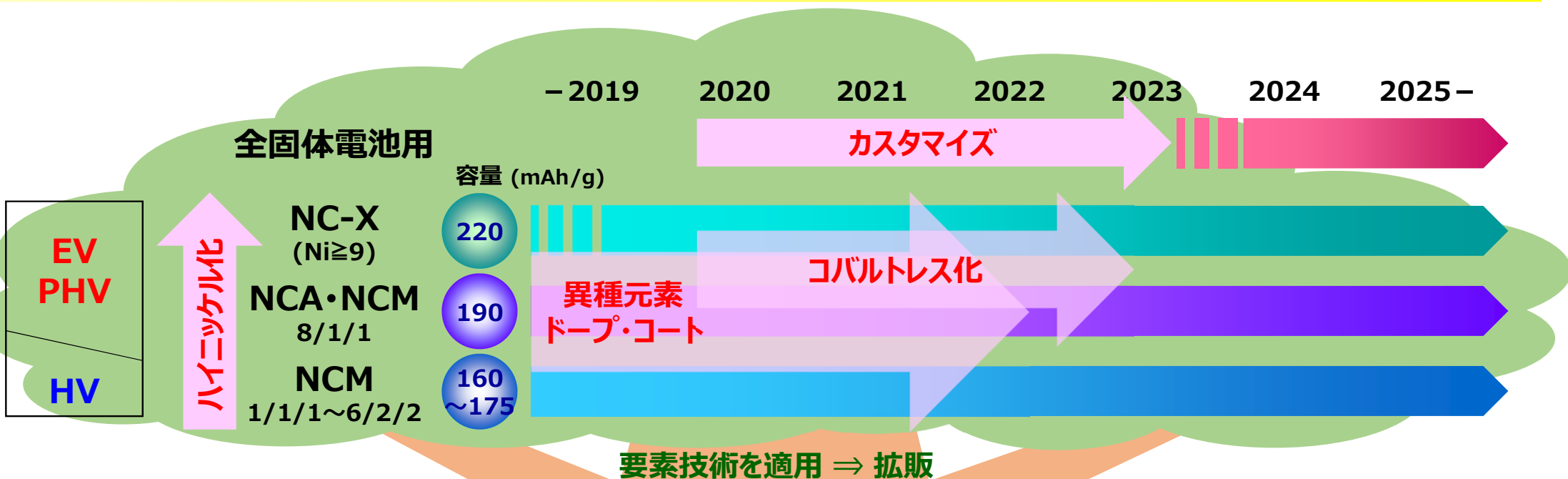
リチウムイオン二次電池市場予測

(単位: 億円)



出所: 富士経済「エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望 2018—エネルギーデバイス編—」

14. 技術開発の方向性



要素技術を適用 ⇒ 拡販

要素技術	ターゲット
粒子形態・粒径制御	高エネルギー密度
粒度分布狭幅化	耐久性
空隙付与・一次粒子微細化	高出力化、耐久性
プロセス開発	低コスト化

15. 中期ビジョン

中長期的に二次電池向け材料市場で存在感あるポジションを確立

中長期的な拡販
+
用途・地域ポート
フォリオの最適化

- ✓ 生産能力(2,000t/月以上アップ) ⇒ 拡販
- ✓ 日本、韓国、中国、欧州にバランスよく

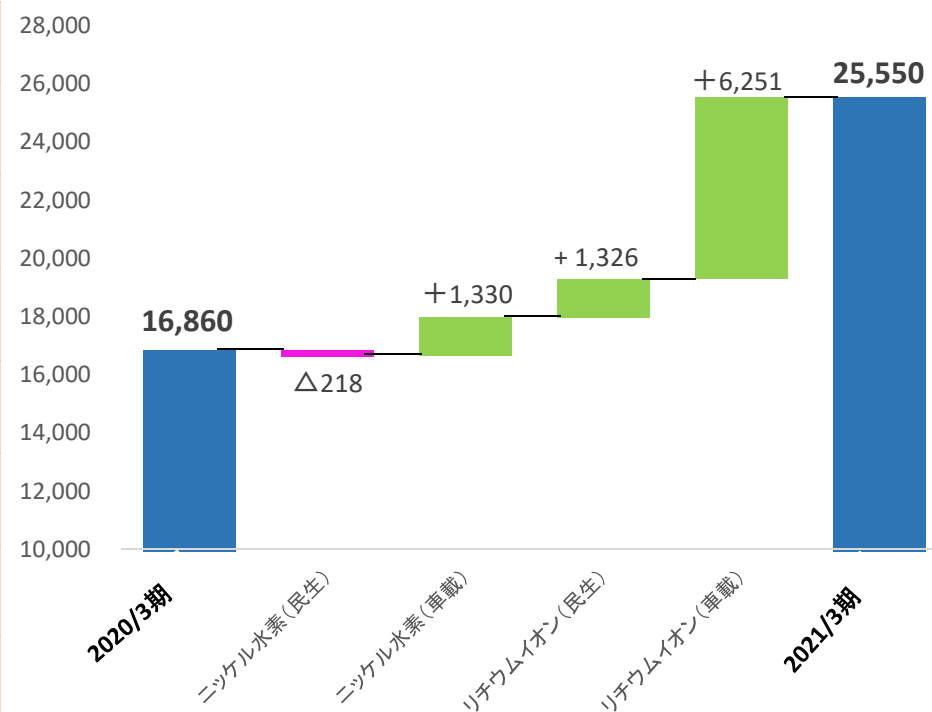
技術開発
+
合理化
生産性向上

- ✓ 要素技術の複合化
- ✓ 原材料コストダウン
- ✓ 収率向上・省力化
- ✓ 既存設備能力増強

16. 製品別販売数量予想

(単位:t)

		2020/3期	2021/3期	増減	増減率
リチウムイオン	民生	5,173	6,500	+1,326	+25.6%
	車載	6,648	12,900	+6,251	+94.0%
	計	11,822	19,400	+7,577	+64.1%
ニッケル水素	民生	368	150	△218	△59.3%
	車載	4,669	6,000	+1,330	+28.5%
	計	5,038	6,150	+1,111	+22.1%
合計		16,860	25,550	+8,689	+51.5%



17. 2021年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	2020/3期	2021/3期 予想	増減	増減率
売上高	20,073	30,000	+9,926	+49.4%
営業利益	△ 1,365	130	+1,495	—
経常利益	△ 1,503	70	+1,573	—
当期純利益	△ 1,628	50	+1,678	—
設備投資	8,073	6,600	△1,473	△18.2%
減価償却費	873	1,450	+576	+66.1%

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響につきましては、現時点では今後の動向が不透明であることから、上記計画に織り込んでおりません。

付属資料

18. 業績を見る注意点

販売単価

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= (\text{主原料国際価格} + \text{加工単価}) \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

//
利益に関係なく増減

//
利益の源泉
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

(注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。